

世界的ヴィオラ奏者

今井信子先生が朝里にやってきて9年
今年も素晴らしかったです。

雪の多い日が続いています。寒さも一段と厳しくなってきました。冬、真っ盛りというところですが、一月中旬ころになると少しずつですが日照時間が長くなってきます。もう一ヶ月くらいすると、午後5時ころでも明るくなってきます。なんでもないことですが、冬の楽しみの一つにしています。

さて、朝里川温泉地域の一月上旬には、ここ数年スイス在住の世界

的ヴィオラ奏者の今井信子先生がやってきて、「ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス」を行なっています。最初の年は真夏に開催していましたが、足かけ9年になりました。

今井先生の指導を受けるためには、東京でのオーディションがあり10名に満たない定員に入らなくてはなりません。

世界のクラシック音楽のレベルは高く、その技術を国内で学べる機会はそんなには多くないのです。ましてやヨーロッパで活躍中の今井先生の指導を直に受けれることは千載一遇のチャンスともいえるのです。

そのヴィオラマスタークラスが朝里川温泉で開かれ

るようになったのは新光5丁目に住む高野るみさんの働きかけからでした。

高野さんは小樽市民センター・マリナーホールを拠点とした小樽のクラシック音楽の発表の場づくりを目指した活動を進める中で今井信子先生と出会い、意気投合したのでした。

この9年間の活動の中で、受講生の若者の中からは、すでにヨーロッパで活躍中の方もでてくるのです。

僕たちの朝里のまちづくりの会は、高野さんの活動に賛同して、ヴィオラマスタークラスの受け入れ団体になりました。最初は「ヴィオラってなに？」「ヴァイオリンよりちょっと大きくて、ちょっと低音で心を温かくしてくれるような音色の出る楽器です」というところから学び始めなけれ



「ヴィオラ、何ぞや？」
やさしい音のてん
楽器です。

ばなりません。ましてや、日本とヨーロッパのクラシック音楽の違いなどは知るよしもありません。9年たった今でも、熟知しているとは到底いえるレベルではないのですが、ほんの少しだけクラシック音楽のヴィオラの演奏に慣れてきたのでした。

今年は1月6日の市議会議事堂での演奏会、同夜の今井先生による「シューベルト冬の旅」の演奏会。1月8日には新光南町会子供会への出前演奏会なども精力的にやってくれてました。14日には、マリナーホールで今年度のまとめの演奏会がありました。少しずつ今井先生の地道な努力が実ってきていると感じます。そして、来年にもまた継続して小樽での開催が実現しそうなのです。少しずつですが、朝里が豊かになっていくような気がします。(中一夫)